

a. 尿比重計（浮秤法）による測定

【実施】 ガラス円筒などに被検尿を入れ、これに尿比重計を浮かべ、静止したときに眼を液面と同じ高さに置き、液面に一致する比重目盛りを読む。同時に尿の温度を測定し、そのときの尿温度が規定温度（通例 15°C）よりはずれるときは、次式によって温度補正をする。

$$d_{15}^{\text{尿}} = d + \frac{t - 15}{3,000} \quad d = \text{比重計の読み}, \quad t = \text{温度計の読み}$$

だいたい 15°C より高いときは 3°C ごとに 0.001 を加え、15°C より低いときは 3°C ごとに 0.001 を差し引けばよい。

【注】 ① 市販の尿比重計のなかには目盛りの不正確なものもあるから、購入時には必ず規定温度とその上下の水溫で水の比重を測り、正しい値を示すことを検定する必要がある。

② わが国の比重計の検定は、被検液に浮秤を浮かべたとき、毛細管現象で浮秤の軸に上がった液の上端の目盛りを読むことになっている（図 2-1）。

③ 比重計を浮かすときに、尿容器の壁に触れないようにする。また、測定容器中に同時に温度計その他の棒状物を入れると、比重が実際より高く出るので注意する。

④ 液面が泡立って目盛りの読み取りが困難なときは、濾紙で吸い取るか、または数滴のエーテルを滴下すればよい。

⑤ 尿中に塩類の沈殿が多量に析出すると比重は低下するので、溶解させてから測定する。

⑥ 合成洗剤は比重を下げるから、使用器具を十分水洗いしておく。比重計もときどき洗剤で洗浄する。

⑦ 尿が少なくて浮秤を用いるに十分でないときは、屈折計で測定する。

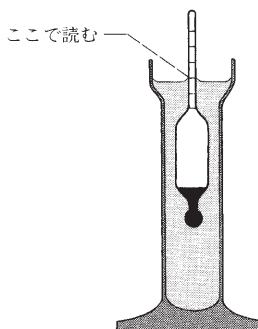


図 2-1 比重計の読み方